

「私たちが知っているのは次のことです。神を愛する人々、つまり神の目的に従って救われた人々のためには、神がすべてのことを共に働かせて益としてくださるということです。」(ローマ 8:28、NIV)

あなたは今どのような問題に直面しておられるでしょうか？次々と起こるあらゆる問題の背後には神様の目的があり、問題を用いて神様はあなたをご自分のもとに引き寄せられます。あなたの心が砕かれ、なすすべもなく、ただ神様に真剣に心を注ぎ出して正直に祈るとき、あなたは最も深く親密に神を礼拝しているのです。ジョニー・エリクソン・タダは次のように書いています。「人生がバラ色の時、私達は主イエスのことを知っていると思い、主イエスのように生きているつもりになっていて、何となく主イエスの教えを引用してみたり、主イエスのことを話したりしています。しかし、苦難を通してでなければ、私達が本当に主イエスを知ることはないのです。」万能の神は何故、ご自分の子供に困難を経験させるのでしょうか？それは、私たちが苦難の中で、神こそ自分が必要としているすべてであることを知り、神とさらに親しくなるからです。しかし、神様は無作為に問題が起きるのを許されてはいません。原因がどうであれ、神の子供の身に起こる事はすべて「父なる神の許し」というフィルターを通っているのです。あなたの経験は全て、霊的な重要性をもっているのです。

冒頭に書かれているローマ8：28の御言葉をもって、問題の背後にある神様の御心をみていきましょう。「私たちが知っているのは次のことです」というように、困難に直面した時の希望は、自分の楽観主義にあるのではなく、神がこの全宇宙を支配し、愛してくださっているという確かな真理にあります。「神は・・・(働か)せて」とは、あなたの人生が偶然や運命ではなく、決して「間違ふことのできない」神のマスタープランに基づいて導かれているということです。あなたの人生に起こる失敗、罪、傷、病気、借金、離婚、死、などの「すべてのこと」が神様の計画にあり、神様は最悪の事態から最良のものを引き出すことができるのです。ちょうど、小麦粉、生卵、砂糖などを混ぜ合わせなければおいしいケーキを焼くことができないように、あなたの人生の一つ一つの苦々しい出来事は、神のご計画の中で「共に働か」され、「益としてくださる」のです。神様は人生の悪いことから良いものを引き出すことを得意としておられます。神様の目的はあなたの問題、恥、失敗、痛みを勝って偉大なのです。イエスと同じかたちになるという「神の目的に従って」、全てのことを働かせてくださるという約束は、「神を愛する人々」(神の子供)にのみ与えられているのです。

逆境の中で、神が重要視されるのは、外側で起こることではなく、私達の内側に起こる変化です。なぜなら、状況は一時的なものです。人格(品性)は永遠に残るからです。ちょうど銀細工師が、自分の姿を映してその純銀の完成度を測るように、神様もあなたの中にイエスの姿を見ることを通して人格の完成度を見られます。問題を通して主イエスの似姿に成長するために、主イエスのような問題の対処法を学ぶ必要があります。第一に、神様のあなたに対する計画が災いではなく希望と将来を与えるものであるという約束に焦点を合わせ続けることです。一時的な痛みではなく、永遠の世界に用意されている報いに目を向けるのです。第二に、喜び、感謝することです。問題や痛み自体ではなく、神様があなたの問題を用いてご自分の目的を達成しようとしていることを喜び、感謝するのです。また、「主にあって」喜ぶとは、何が起こっても変わることはない神の愛、配慮、知恵、力、真実、そして苦しみを共有してくださっている神を喜ぶのです。第三に、決してあきらめないことです。問題から逃げようとしたり、近道をとろうとしても、かえって成長を遅らせ、痛みを増加させるだけなのです。問題の背後にある永遠の意味を理解するにつれ、「私を慰め、気持ちよくなれるようにしてください」という祈りから、「私を造り変えてください」という祈りをするように変えられていきます。問題に直面するとき、「どうして」と問うのではなく、「神様、あなたは私に何を学ばせようとしておられるのですか」と祈り、神様の約束に信頼し、正しいことをあきらめずに行っていく時に、私たちは成長していくのです。

今日のポイント：あらゆる問題の背後には神の目的があります。

考えてみましょう：今までの人生の中で、私を最も成長させた問題は何だったのでしょうか？